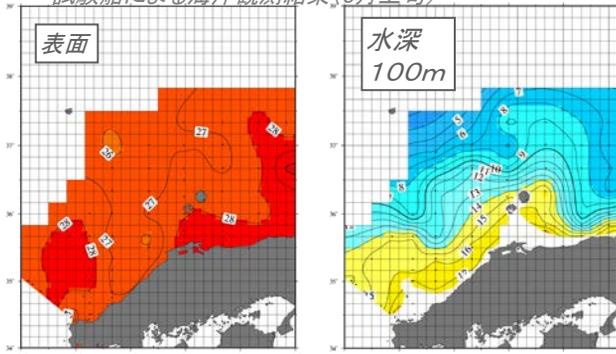
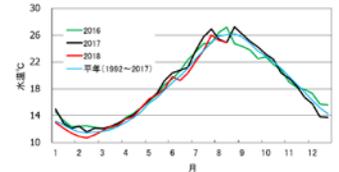




鳥取沿岸の水温

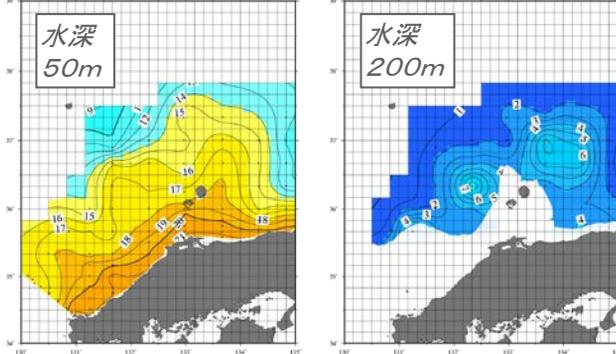
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

8月中旬 24.9°C
平年より約1.1°C低め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は27～28°Cで、平年と比べかなり高い値となっています(平年差+2°C)。

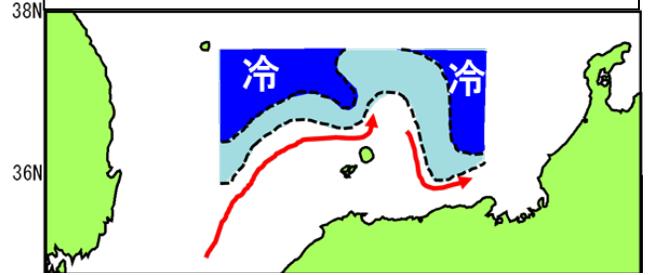
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は12～17°Cを示し、鳥根県沖北緯36°00'～50'、鳥取県沖36°以北に10°C以下の冷水が認められます。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は17～21°Cを示し、平年並みの値となっています。

隠岐諸島北東、北西にそれぞれ4～6°C、4～7°Cを示す暖水域が認められます。

8月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 鳥根沖 冷水 : 鳥根沖北緯36°00'～50'以北に認められます。
- 山陰 若狭沖冷水 : 鳥取県東部沖北緯36°以北に認められます。
- 沖合の対馬暖流 : 鳥根沖冷水に沿って流れ、隠岐諸島の北方へ流れています。その後、山陰・若狭冷水に沿って東方へ流れていると考えられます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています。是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★



2018年 漁業センサス

平成30年11月1日現在(流通加工調査は平成31年1月1日現在)で「2018年漁業センサス」を実施します。

「漁業センサス」は、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、統計法に基づいて5年ごとに行う大規模な調査です。

10月中旬(流通加工調査は1月上旬)から調査員が漁業関係者の方々に訪問しますので、調査票に漁業の操業状況などの記入をお願いします。

漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。ご協力をお願いします。

問い合わせ先
鳥取県地域振興部統計課経済統計担当
TEL: 0857-26-7109
電子メール: toukei@pref.tottori.lg.jp



政府統計

水産試験場

今季の境港のクロマグロ水揚げ状況

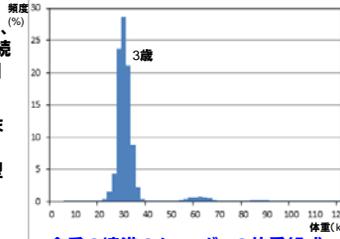
○境港にクロマグロを水揚げする大中小型まき網漁業者は、全国に先駆けてクロマグロの大型魚(30kg以上、鰭・内臓込み重量)の自主的な資源管理に取り組んできました。今季からは法的な数量管理であるTACに移行となりましたが、昨年同様に日本海側での漁獲上限を1,800トン(鰭・内臓込み重量)に設定し、8月の休漁を行いました。

○今季は6月4日に初水揚げとなり、その後も比較的順調に水揚げされ、7月12日に目標漁獲量に達したため、マグロ漁は終了しました。(総水揚げ回数29回)

○水揚げ量(鰭・内臓除去重量)は1,042トン(昨年より6トン増)、水揚げ金額は12億6千590万円(昨年より1億596万円増)、単価は過去5年間で最高の1,215円/kgとなりました。

○漁場は主に北部日本海(新潟沖)に形成され、脂の乗りが良い30kg程度の3歳魚を中心に継続して水揚げされたため、4～5歳魚の多い中部日本海はあまり漁場利用されませんでした。

○今年の3歳魚の資源量はやや少ないと見込まれていたため、心配な面がありましたが、3年前から国を挙げて取り組んでいる30kg未満の小型魚の大幅な漁獲量削減による資源管理の効果が功を奏していると考えられ、太平洋クロマグロの早期な資源回復が期待されます。



今季の境港のクロマグロの体重組成 (体重は鰭、内臓抜き)

「第7回 水産試験場 海と魚の学習日」を開催!

参加無料 たくさんのご来場をお待ちしています

【日時】9月29日(土) 午前9時30分～午後3時
【場所】境港市竹内団地107 鳥取県水産試験場(雨天決行)

- 【内容】
- ・イカの解剖 & 干物づくり教室(人数制限あり)
 - ・干しハタハタ等の美味しさ試食
 - ・毛糸のお魚ストラップづくり
 - ・キジハタすくい・放流(人数制限あり)
 - ・タッチングプール
 - ・試験船「第一鳥取丸」見学
 - ・スラリーアイス体験など 楽しいイベント盛りだくさん。
- ほか、研究員による船上調査内容を動画でわかりやすく説明する情熱講演 & 新鮮度凍結した境港産生シラスの試食会(先着30名)も行います。

平成30年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

栽培漁業センター

漁港内で養殖したマアジの試験出荷を実施

昨年度より、漁港内の未利用スペースを活用した小割イケス(3m四方)でのウマツラハギ・マアジの養殖試験を実施しています。

長和瀬漁港(鳥取市青谷町)では4月半ばより漁港内で釣ったマアジ527匹(全長25cm程度)をイケスに移し、餌を与えて生育状況や生残について調査しました。約2カ月程度の飼育で平均魚体重が100g程度増加し、生残率93%(7月31日時点)と歩留まりも良く、良好な結果が得られました。

餌が足りなくなった養殖マアジ



ほどよい脂のりで、良く太った養殖マアジは7月13日から賀露市場にて試験的に出荷しています。毎週金曜に出荷し、最高で500円/尾の高値が付き、仲買業者等からもますますの評価を頂いております。

活魚での出荷

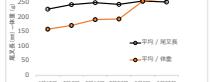


御来屋漁港内でもイケスの設置場所を昨年度より静穏な場所に移してウマツラハギの養殖試験を実施しています。漁港内養殖の実用化に向け、今後も調査を進めていきますので関係者の方々には引き続きご協力をお願いします。



イケス内の養殖マアジ

養殖マアジの平均尾長・体重の推移



潮に夢を 共和水産株式会社
代表取締役 岩田 祐二
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX:0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります
西日本ニチモウ株式会社
本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330